

千代田中学校だより

## 自ら一步前へ

平成30年7月18日

第13号

一人ひとりが輝き

校長 山田正彦

笑顔と感動があふれる学校

## 見通しを持って生活を

いよいよ1学期の終業式を迎えます。4月から4ヶ月弱が過ぎました。中学校へ入学した1年生にとっては、いろんな

ことが新鮮であり、だからこそその不安やしんどさをそれぞれが感じたながらも、「中学生らしさ」が身に付きはじめました。後輩ができた2年生は、中堅としての気遣いや言動を意識するようになり、半年先を思い浮かべながらリーダーとなるその日の準備をしています。そして、最高学年となった3年生は、一つ一つの行事や毎日の部活動等でのリーダーとしての行動が自覚へとつながり、その自覚がさらに行動力を高めいく、そんな好循環が頼もしく見えます。そして、終了するという事は、夏休みがやってくるということです。長い夏休み、普段できないことを1つでも2つでもできたらいいですね。休みとはいっても、部活動や職場体験学習等もあるので、自分で計画を立てるといいと思います。「あーッ、もう終わったー！」とならないために、夏休みのしおりの計画表を活用して、自分なりに計画を立てましょう。1年生は、中学校で初めての夏休みです。小学校のときのような雰囲気にはならないと思うので、見通しを持った生活ができるようにしましょう。

また、夏休みに入ってすぐには郡総体が、8月の始めにはコンクールが開催されます。特に3年生にとっては思い入れも大きな大会になります。今一度目標を叶えるのは自分自身の力・仲間との絆です。同じ思いをチーム全員で確認し結集させれば…。これまで蓄えてきた力を、君たち一人ひとりが出し惜しみすることなく発揮することです。大会なのでプレッシャーは感じることでしょう。自分に打ち勝つ気持ちを高めるために、お互いに声をかけ合う等して、チームとして戦うことを意識し行動に表しましょう。 **「命」が一番です!**



最後に、夏休みは普段の生活とリズムも違ってきます。健康や事故には十分気をつけてください。特に、これまでも伝えてきたように「交通事故」には気をつけてください。道路を渡るときは「必ず一旦止まる」等、自分の「命を守る行動」を自分で意識して行いましょう。2学期、全員が元気よく次のスタートを切りましょう。

## 「自ら一步前へ!」ですね



先日保護者の方からこんなお電話をいただきました。「県選手権サッカー大会で、感謝の言葉を聞きました。それは、呉市のチームの保護者の方からです。『今回の豪雨災害で参加すること事態大変な状況でしたが、千代田中学校のサッカー部の保護者の方、生徒の皆さんには、ほんとにいろいろな面で助けていただきました。私からみなさんにお礼を言えばいいのですがそれもできません。どうか何かの機会に皆さんに私からのお礼の気持ちを伝えるお電話をいただきました。』ということでしたので、お電話を

しました。」という主旨の内容でした。大会前の壮行式で出場する各部が目標や決意を述べる中、サッカー部は合わせて「災害で生活用水に困っておられる方に、水を持って帰ってもらいたいのので、各家庭にあるペットボトルを持ってきてください。」と協力を呼びかけました。自分達のことだけでなく、同じ競技をする仲間や、困っているであろう方のことをも考えることができる気持ち・言動は、私自身頭が下がりました。この便りの何号か前にも君たちの行動で「頭が下がる」と書きましたが、今回も同じです。また、サッカー大会が地元で開催されるので、「自分にも何かできないか」と考えて、応援の横断幕「がんばろう広島」を作成した生徒もいます。1回戦当日は、猛暑の中たくさんの生徒が競技場に応援をしに来ました。その生徒の皆さんも含めて、こんなステキな生徒がいる千代中が私の「自慢」です。